



若林みきおの 市議会だより

2009年1月発行
創刊号
若林幹雄(東御市議)
東御市滋野乙2724
Tel/Fax0268(62)2070

市議会だより 発行にあたって —いまこそ行政の出番です—

市民の皆さん。明けましておめでとうございます。昨年は市議会議員選挙で大変お世話になりました。

さて昨年は市長選挙と市議会議員選挙が行われました。市長選では前市長がまさかの落選、大方の予想を覆して新市長の当選。市議選でもアイターンした若者がトップ当選、部落推薦を受けた候補者が苦戦するなど予想を覆すようなできごとが起きました。まさにいま市民は変革を求めています。

昨年後半からの景気の減速により雇用不安が一気に加速、多くの非正規雇用の若者が勤めと住まいを同時に失いました。お年よりも後期高齢者医療制度がスタートし、国民健康保険税の引き上げなど生活は一層苦しくなっています。

今こそ政治の出番。市民の皆さんが安心して暮らせる社会実現のために行政の役割は極めて重要です。

私は市民の皆さんの願いに真剣に耳を傾け、その実現に力を尽くし、市政の状況を市民の皆さんにお伝えするという活動を着実に実行してまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。



目次

- 1、発行にあたって、議員日誌
- 2、12月議会—一般質問
- 3、議会雑感
- 4、田中駅南口問題を探る、編集後記

議員日誌(11・12月)

◆ 11月9日東御市議会議員選挙に当選。877票、第8位でした。翌10日には市役所で選挙管理委員会による当選証書授与式、14日、21日に議員懇談会がありました。

◆ 11月26日には選挙後初の臨時議会が召集され議長などの構成が決まりました。私は「さわやかな風」に所属。同会は長越修一・依田俊良・石和大・井出進一各氏と私。社会福祉委員になりました。

◆ 議員となってまず行ったのは、市役所の各部署を訪問してその仕事の内容と問題点をヒアリングすることでした。結果は一般質問に生かしました。

◆ 12月議会は12月9日から25日までです。15・16日には一般質問が行われ、私は15日の最後に行いました。18日には本会議、19・22日は委員会審議、25日には本会議がありました。

◆ 12日には滋野地区区長会の忘年会に参加。27日未明には中屋敷で火災が発生。私も早速かけつけ何十年かぶりに半鐘を叩きました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

(注) 題字カットは尾澤れい子さん

お困りごと相談所

(若林 幹雄)
お困りごと相談所を開設しました。
お気軽にご相談ください。
連絡先 東御市滋野乙2724(中屋敷)
Tel・Fax 0268(62)2070

■ 12月議会 一般質問



議会には議員が市長に、行政の課題について質問する国会でもおなじみの「一般質問」という制度があります。

今回、私は初めて質問をし、子育て家族への支援・土地開発公社の財務問題・図書館建設問題の3点について市長の考えをたずねました。

その中で土地開発公社の保有資産は実質的に20億円程度目減していること、将来的に資金を投入せざるをえないことが明らかになりました。今後厳しいチェックが必要です。

子育て家族を応援する

入学祝い金は検討の価値がある
中1ギャップは現場の話し合いが必要

若林「いま若い世帯の子育てが大変になっている。子供たちをめぐる状況はどうなっているのか。」

教育長「就学援助は就学困難と認められる児童生徒に対し学用品、学校給食費などを援助しており増加傾向にある。11月末で267名、全児童・生徒の9.2%だ。」

若林「児童・生徒の1割が就学援助を受給しているとは驚きだ。格差社会の中で子育てがますます厳しくなっている。子供たちが入学する時に助成金制度を検討してほしい。また中1ギャップ解消のために市は東部中学校の1年生を1クラス増やした。これで先生方の目が行き届き教育の成果があがってきている。2年生も対応してほしい。」

市長「入学祝い金は十分検討の価値がある。しかし原資の問題がある。中1ギャップについては中2・3と続けることが東中にとって必要なことなのか教育現場で話し合いが必要だ。教室などハードも問題だ。現場の教師と教育委員会の話し合いをさらに持って行きたい。」

(注)中1ギャップとは中学校進学に伴う環境変化に対応できず不登校やいじめなど様々な問題が起きること。

土地開発公社の財政問題

時価評価すると20億円目減りしており、
計画的な公的資金の投入が必要

若林「今回の選挙で市の借金について心配する声が聞かれた。土地開発公社の借入金の実態について聞きたい。」

副市長「土地開発公社の借入金は53億7000万円。現在行っている鞍掛工業団地の造成事業は17億5000万円だ。借金削減するには土地販売を促進することだ。企業誘致も行っているがまだ成果にまで結びついていない。」

若林「一般的に資産評価は土地の購入価格で行うが、土地開発公社はそれに金融機関への支払利息や経費を加えている。これだと土地が売れなくても経費がかかるので資産評価は膨らむというおかしなことになる。販売に力を入れるというが販売できる資産は全体の3分の1だ。3分の2はコメリやベイシアに貸してあるため30年は借入金は圧縮できないではないか。資産評価は土地の購入価格である簿価で行っているが、時価で行うべきではないか。バブルの時と比べ地価が半分にまで下がっているところもあると聞いている。」

副市長「資産の中に事務費と支払利息が入っているのは私もおかしいと思う。時価

会計にすると、購入時に比べ土地価格は30%から40%下がっているのので、当然資産が目減りすることになる。その額は20億円を超える。今後計画的に市として資金を投入し、計画的な買戻し買取をして行かざるをえない。」

若 林「たまたまうみは出さねばならない。その上で根本的な解決に取り組んでほしい。」

市 長「私自身民間とは違うと感じていた。いただいたご指摘の中で最善の努力をしてみたい。」

若 林「日信工業と工場建設について合意したそうだが土地引渡しまで3ヶ月ある。もしこの間に契約解除となったらどうするのか。」

市 長「日信工業の計画がそのままなされると信じている。万が一の時には契約額の2割を違約金としていただくことになっている。」

図書館建設問題

図書館整備の必要性は認識している
市民と一緒に考えて行きたい

若 林「市民の中には図書館に多額の税金をかけるべきでないという意見もある。」

市 長「増え続ける資料や狭い現状から図書館整備の必要性については認識している。今後市民の要望を取り入れたい。」

若 林「建設を前提にするのではなく、幅広く市民の声を聞くべきだ。」

市 長「出発点がまず建設ありきだったかどうかについては検証が必要だ。ただ6万冊の蔵書が11万冊になり有効に機能できないという認識は共有できる。」

若 林「時間的に市民参加が得られるような取り組みを行ってほしい。」

市 長「基本構想をとりまとめた上で、市民と一緒に計画を煮詰めて行きたい。」

議会 雑感

市民の願いを行政に届けるため 市民の目線で考え行動します。

■医学生奨学金制度成立する

12月議会の大きな争点は医学生への奨学金制度でした。これは市民病院の医師不足を解消し、郷土の医療を支える人材育成を図るために花岡市長が提案したものです。まさに時期を得た提案といえます。しかし市議会はこれまで昨年の9月議会、10月臨時会と二度にわたって継続審議とし、結局廃案にしてしまいました。

この奨学金制度は私の所属していた社会福祉委員会で審議されました。審議の中で議論になったのは支給対象者を東御市民に限定するかどうかということでした。私は市民の税金を使うことでもあり、郷土の医療のために市内の若者の力を借りたいというメッセージを発するためにも、対象者を市民とする原案を支持しました。その結果委員会で可決、本会議においては全員の賛同が得られ成立しました。

■大きな事業が目白押し

12月議会で市当局から示された平成21年度のおもな重点課題は以下の通りです。

・【院内助産所の開設】

助産所が市民病院内に開設されます。

・【舞台ヶ丘周辺の公共施設の整備】

耐震上問題のある市庁舎や図書館、中央公民館などを整備するという方針が示されました。皆様のご意見をお寄せください。

・【コミュニティFMの調査】

防災のための情報伝達手段はオフトークやCATVですが老朽化しており、新たにコミュニティFM局の開設が検討されています。

・【羽毛田バイパスの検討】

渋滞解消のために菅平有料道路を18号線から南へ延伸し、カクイチ下の交差点につなげる「羽毛田バイパス」の建設を検討しています。

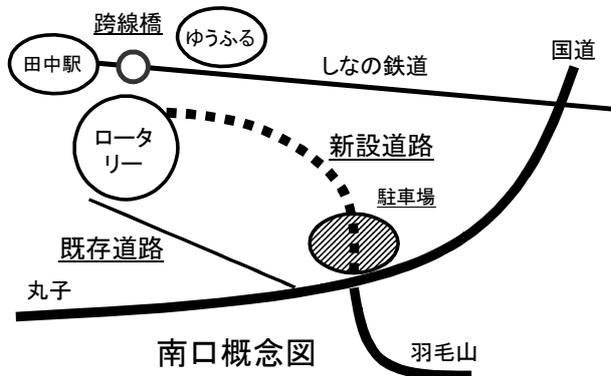
緊急調査一田中駅南口問題を探る！

田中駅南口とは、しなの鉄道に跨線橋をかけ南側からも駅を利用できるようにしようというものです。ロータリーに接続する道路をどうするかで計画は二転三転。その都度経費は膨れ上がってゆきました。問題はどこにあったのか探りました。

■ 計画変更で増え続けた経費

まず最初の案は接続道路は既存道路を使用するものでした。総費用は3億円でした。しかし幹線道路と斜めに接していたり、交差点に近いことなど安全上問題がありました。

こうした中で次に検討されたのは、新たに取り付け道路をつくるというもの（図参照一点線部分）。これで予算は6億円と倍に膨れ上がりました。しかし跨線橋の地盤が軟弱だったり、隣接地を購入せざるをえなくなったり、設計ミスがあったり問題が次々と発生。こうして最終的には、予算はさらに2億円上乗せされ総額8億円になりました。



南口概念図

■ 問題はどこにあったのか？

第一の問題は何人の方が南口を利用するか調査していないことです。北御牧の久保通りの方々は北口を使うという声が多く南口利用者は限られるようです。また南口の場合、上田方面の方はホームに下りるまでに2つの橋を渡らなければならず不便です。利用見込み者数が不明では適切な計画が立ちません。

第二の問題点は、新たな道路建設に伴い不要な土地まで購入したり、調査不足から工事費用が増加したり、離れた場所に駐車場を設けるなど計画性に乏しいことです。

第三の問題点は、予算が際限なく増加したにもかかわらず十分チェックされなかったことです。予算が当初計画の2.7倍になるなど民間では考えられないことです。

■ これでよかったのか？

南口建設は街の発展にとって必要であるということは理解できます。しかし事業はすでに発注されているとはいえ、その進め方には極めて問題があると感じています。

編集後記

—ご意見・ご感想をお寄せください。

- ▼ 「議会だより」創刊号をお届けします。内容はいかがでしょうか。ぜひご意見・ご感想をお寄せください。
- ▼ 選挙の時、市民の皆さんから様々な要望をお寄せいただきました。早速その実現のために取り組みました。
- ▼ 滋野駅で自転車やバイクの盗難が相次ぎ、盗難防止のため監視カメラを設置して欲しいという要望は、早速市民課に要請したところ予算化される見込みです。交番によれば盗難防止上監視カメラは有効だそうです。
- ▼ 牧家の旧道は道が狭いため危ないので東中

の通学路を見直して欲しいという要望もありました。校長先生に実態をお話いたしました。

- ▼ 東中1年生のお母さん達から寄せられた要望は中1ギャップ解消のための取り組みを2年生にも適用し、1クラス増やして欲しいというものでした。校長先生にお話をお聞きし、教育委員会にお母さん方の声を伝え、一般質問でも取り上げました。
- ▼ 今後も皆様のご要望実現のために精一杯取り組んでいきたいと思っています。よろしく願いいたします。